

令和5年度事業報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

事業概要

令和5年度は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中で、新型コロナウイルス感染症も法律上の位置づけが「2類感染症」から「5類感染症」に移行されるなど、明るい兆しも見え始め、景気が持ち直していくことが期待されているところです。

そして、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や円安など厳しい1年となり、本センターの運営においても少なからず影響があったと考えます。また社会情勢の変化を確認しながら事業を進めてまいりました。令和5年10月からは適格請求書等保存方式(インボイス制度)が始まりシルバー人材センターを取り巻く環境はますます厳しいものとなっております。

また、新しい生活様式への対応やデジタル化の加速など、シルバー人材センターを取り巻く環境は急激な変化を続けています。本センターにおいても、国の「シルバー人材センター等デジタル化整備促進事業」を活用しながら会員増強、就業機会の拡大にも繋がる「会員のICTリテラシーの向上」、「デジタルツールを活用したコミュニケーションの向上」、「会員のスキルを活かした就業マッチング」などの取組を実施し、会員の利便性の向上及び業務の効率化等に努めてまいります。安全就業においては、「安全最優先」・「事故ゼロ」を掲げて取り組んでまいりました。

このような状況の中、令和5年度の受託事業(請負・委任)と派遣事業を合わせた全体実績は、前年対比101.7%で増となりました。会員数においては14名の減となり325名でした。

このことから、シルバー人材センターの基本理念である、会員相互の「自主・自立、共働・共助」を推進するとともに、今後ますます進展する高齢化社会に対応するため、会員・役職員一丸となって更なる会員の拡大、就業機会の拡大と適正就業・安全就業の徹底を重点に事業に取り組んでまいりました。

以下、令和5年度に実施した主な事業活動実績の概要を報告します。

事業内容

1 請負・委任契約の実績

(1)概要(会員数他)

年 度	会員数(人)	受注件数(件)	就業延日人員(日人)
令和5年度	325	2,484	21,446
令和4年度	339	2,547	21,332
前年対比	95.9%	97.5%	100.5%

(2)契約金額の内訳

(金額単位:千円)

年 度	契約金額	契 約 金 額 の 内 訳		
		配分金	材料費	事務費
令和5年度	120,156	94,715	14,944	10,497
令和4年度	117,208	91,768	15,872	9,568
前年対比	102.5%	103.2%	94.2%	109.7%

一部作業の配分金単価を改定したことによる増加。

〔参考〕総契約金額(請負就業並びに派遣就業) (金額単位:千円)

年 度	総契約額	請負就業契約額	派遣就業契約額
令和5年度	153,459	120,156	33,303
令和4年度	150,848	117,208	33,640
前年対比	101.7%	102.5%	99.0%

(3)請負就業の構成別契約金額 (金額単位:千円)

年 度	契約金額	契 約 金 額 の 内 訳		
		公共事業	企業等	家庭
令和5年度	120,156	26,361	56,131	37,664
構成比率	100.0%	21.9%	46.7%	31.4%
令和4年度	117,208	29,394	52,767	35,047
構成比率	100.0%	25.1%	45.0%	29.9%
前年対比	102.5%	89.7%	106.4%	107.5%

公共事業においては、選挙関係作業の減少が影響。

(4)請負就業の職群別契約金額 (金額単位:千円)

職群	仕事内容	令和5年度 契約金額	構成比 (%)	令和4年度 契約金額
技能群	剪定・大工・障子襖張り等	31,184	35.6	34,299
事務整理群	筆耕・事務等	306	0.2	299
管理群	施設の休日受付業務等	8,847	2.1	8,558
折衝外交群	水道メーター検針・電話帳配布	5,134	1.2	5,028
一般作業群	草刈り・草取り・清掃・屋内外軽作業等	73,688	60.1	67,944
サービス群	案内係・家事支援等	998	0.8	1,080
合 計		120,156	100.0	117,208

2 派遣就業の実績

年 度	派遣登録会員 (人)	派遣就業延べ 人・日	契約金額 (千円)	派遣先 契約件数
令和5年度	108	8,089	33,303	13
令和4年度	96	8,353	33,640	18
前年対比	112.5%	96.8%	99.0%	72.2%

3 就業機会の拡大

令和5年度についても前年と同様に、職員9名に就業開拓・雇用サポート推進員の兼務辞令を発令し、日常業務と並行して、企業訪問や個別訪問によるチラシの配布を行いました。

また、役職員によるチラシ配布等の周知活動も実施しました。会員と入会希望者を対象とした草刈り講習、障子張替え講習、庭先果樹剪定講習を実施しました。

4 会員拡大活動の促進

入会説明会を、毎月第3水曜日に年間12回開催するなど、会員数の拡大を図りました。

このほかに、年2回発行する広報紙「南部シルバーだより」に会員募集のページを設けました。会員募集のチラシの全戸配布も行いました。冬季間には理事と会員、職員が入会の可能性のある人を訪問し、入会の勧誘やチラシの配布を行いました。

5 普及啓発活動

南部町、伯耆町の町民の皆様へ、本センターに対する理解を深めていただくことや、会員並びに就業の拡大を目的に南部シルバーだよりを7月と2月に発行し全戸配布しました。

このほか、新聞広告を1回、電話帳への広告掲載を2回行いました。また、令和5年10月28日には南部町天万庁舎周辺や岸本公民館、岸本老人福祉センター、伯耆町溝口駅、溝口中学校、プラザ西伯において会員68名、職員8名により施設内の樹木のせん定や草刈、清掃などの奉仕作業を行い、本センターの社会貢献活動をアピールしました。

6 適正就業の推進

適正な就業形態については、本年度も関係法令を遵守し、引き続き適正な就業の形態の確保に努めました。

令和5年3月に制定した適正就業委員会規程に基づき、次の事業を行いました。

(1)適正就業委員会 1回

7 安全就業の徹底と会員の健康管理

「安全はすべてに優先する」を合言葉に令和5年度も安全対策推進員を2名の理事会員に委嘱し、定期パトロールを実施するなど次の事業を行いました。

(1)安全就業研修部会 2回

(2)安全就業対策研修部会 2回

(3)安全就業対策委員による安全パトロール 2回

(4)安全・適正就業パトロール指導員(県シルバー連合会)パトロール 1回

(5)安全就業推進員(2名)パトロール 12回

(6)理事によるパトロール 2回

(7)安全適正就業研修会(県シルバー連合会主催) 参加者 6名

(8)入会説明会時安全就業研修 年12回 参加者49名

(9)安全就業研修会(南部・伯耆各1回) 参加者102名

8 会員の意識と技能の向上

年間12回の入会説明会において、シルバー事業の理念について説明を行いました。

令和5年度安全就業研修会においては会員の安全就業を目的に、「安全は全てに優先する」を大前提として鳥取県シルバー人材センター連合会より講師を招き研修を受けました。

スマートフォン操作講習会を定期的実施しました。(実施回数 22回 参加者計 184名)

9 消費税に関わるインボイス制度(適格請求書保存方式)導入に対する対応

令和5年10月から始まったインボイス制度によって、免税事業者である会員へ支払った配分金に対する消費税額は仕入税額控除不可(経過措置期間6年)となりました。本センターが負担をする消費税額は10月から3月の半年間で約740,000円となり、今後も支払い続けることは本センターの運営に大きく響いてきます。

10 フリーランス新法の施行に伴う契約方法の見直しに対する対応

令和6年の秋頃に導入されるフリーランス新法施行に伴い、シルバー人材センターの契約方法を見直す事によって変わる消費税の課税関係が、本センターの事業運営にどのような影響を及ぼすかを見極め、鳥取県内のシルバー人材センターの動向に注視し、柔軟な対応に取り組ましました。フリーランスの取引を適正化し、個人がフリーランスとして安定的に働くことができる環境の整備を検討しました。

11 事務の効率化について

平成26年度以降、インターネット環境の整備を随時行っています。令和5年度は、フリーランス新法の施行を見据えスマートフォン・パソコン等を利用し、シルバー人材センター専用サイト『Smile to Smile』から情報を取得できるよう、対応を始めました。

これらのシステムをさらに効率的に活用することでお客様や会員の皆さんに対する利便性を向上させるために、広報によるホームページの周知やその掲載記事の定期的な更新を図るなど実施してきたところです。

コンビニエンスストアでも支払いができる収納システムを導入してから約2年経過しました。令和5年7月以降スマートフォンでの支払いも可能となり、今後さらに職員による集金や現金の取扱いを減らすよう事務の効率化に努めてまいります。なお、コンビニ収納サービスを利用した支払い実績は次のとおりです。

年度	総支払件数	コンビニ支払い件数	割合
令和5年度	1,939件	836件	43.1%
令和4年度	1,985件	848件	42.7%

12 会員の福利厚生

平成27年から始めた「女性のつどい」は、令和5年度は8月28日に、女性会員22名が参加して『大江の郷自然牧場』への研修を行いました。

11月18日に開催予定のグラウンドゴルフ大会は悪天候のため中止としましたが、南部町・伯耆町の会員・職員がつくった新米を持ち寄り、会員ボランティアによる『おにぎり&豚汁会』を開催しました。

また、2月14日には南部・伯耆会員・職員61人が参加して出雲市方面への研修旅行を行いました。

以上のような活動には、今後とも積極的に取り組んでいくことで、会員相互の親睦を図り、併せて会員拡大にも役立てて行きたいと考えます。